

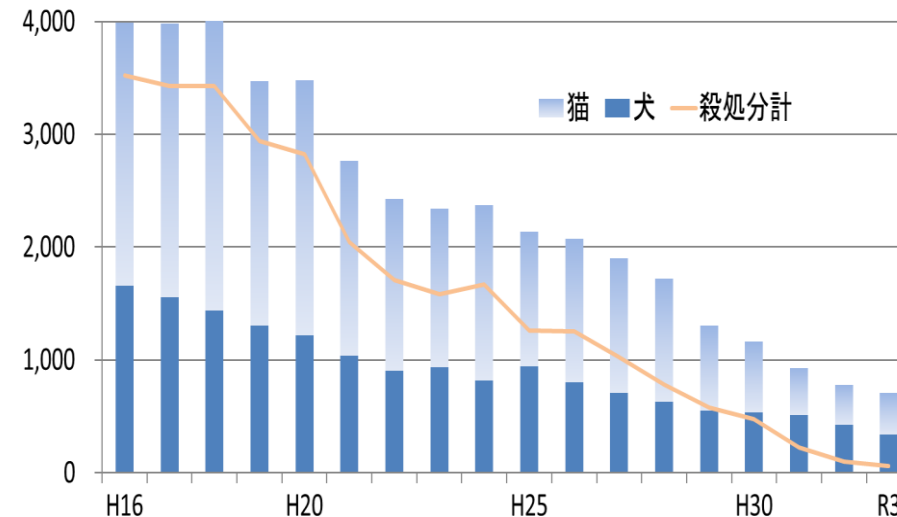


背景



山梨県では、**人と動物がともに命あるものとして共生する社会の実現**を目指している。

殺処分数は年々減少しているが
年間700頭近い犬猫が収容され、
60匹が処分されている（R3年度）



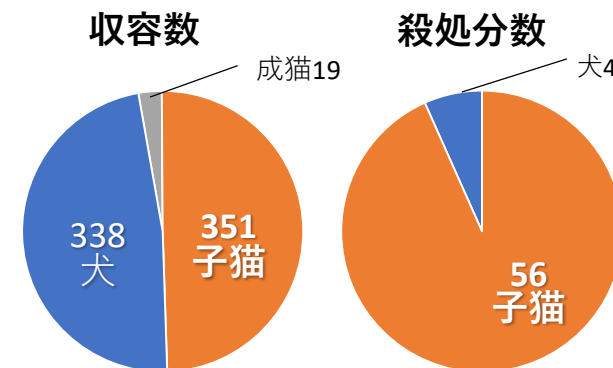
現状の課題



- ・収容される犬猫の**半分が飼い主のいない猫から生まれた子猫**
- ・これらの子猫が、**殺処分数全体の9割**を占める



殺処分を減らすためには、これらの**子猫への対策**が必要



事業の
目的

殺処分を限りなく減らすためには、殺処分の9割を占める**子猫への対策**が必要

- 対策1 収容数を減らす
- 対策2 収容された子猫の譲渡を促進する

事業
内容**1 猫の不妊・去勢手術費補助金事業**（予算額 129,600,000円）

- ・市町村が実施する助成制度に対する補助金
- ・補助対象 飼い主の有無を問わず全ての猫
- ・補助率 10分の10（市町村の負担なし）
- ・補助上限 不妊15,000円、去勢10,000円
※飼い主のいない猫の場合は1,000円を加算



（参考）以前の補助制度
補助対象：飼い主のいない猫のみ
補助率：2分の1
補助上限：不妊・去勢とも5,000円

2 子猫のミルクボランティア確保事業（予算額 3,027,000円）

離乳前の子猫を自宅等で一時的に飼育するボランティアを募集。
飼育に必要な物品の支給などにより活動を支援し、新しい飼い主への譲渡につなげる。



得られる
成果等



寄附を
する
メリット
等



- 目標値 (R元年度 → R12年度)
- ・犬及び猫に関する苦情 1,171件 → 580件以内
 - ・犬及び猫の収容数 923頭 → 460頭以内
 - ・犬及び猫の処分を限りなくなくす

- ・動物愛護意識の普及
- ・犬や猫による人への危害、近隣への迷惑行為の減少
- ・やむを得ず殺処分される犬猫の減少

→人と動物がともに命あるものとして共生する社会の実現



お願いしたいこと

- ・企業版ふるさと納税によるご寄付
最終目標額：134,377,000円
(事業全体の予算額)
- ・本事業の幅広い周知



企業様のメリット

動物愛護指導センター情報誌にて企業名を公表
同センター内の看板へ企業名を掲示
山梨県HPによる企業名の公表

- ・動物愛護に貢献する企業、社会貢献企業としてのPR効果
- ・新たな課題解決に取り組む企業としてのイメージアップ
- ・山梨県における知名度向上

連絡先



山梨県福祉保健部 衛生薬務課 食品衛生・動物愛護担当

TEL : 055-223-1489 FAX : 055-223-1492

E-mail : eisei-ykm@pref.yamanashi.lg.jp

